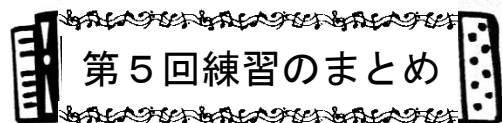


## 「関東アコ 30周年記念コンサート」実行委員会だより

開催日並びに会場 2020年3月8日(日) 会場：墨田区曳舟文化センター



### 音源の紹介！

Chick・Corea 作曲「Spain」

ホームページに3種類の演奏がアップされています

1月26日(日)5回目となる今回は、豊島区巢鴨のスタジオフォーに於いて午前10時から午後5時まで(昼食休憩1時間)の練習でした。午後からピアノとドラムが加わり参加者は32名でした。


#### 《午前の練習》

まず各パートの参加人数を確認、バランスを見て希望とすれば、指揮の振り方として、12小節からは出来れば2つ振りでやりたいと話され、第1小節から11小節まで(アレンジ協奏曲の部分)中でも5小節の3拍目から多く時間を割きました。

指摘された小節とその音の出し方の指導点をまとめてみました。全パートに共通する指摘もあります。参加者は思い出しながら参考にしてください。

**ポイント1**、29小節(全パート)、75小節(全パート)、132小節(1、2パート)、162小節(全パート)の3拍と4拍が同じパターンで休符になっています、ここにドラムが“ボボンボン”と入ります。

**ポイント2**、30小節(全パート共通)  を例に付点四分休符(四分休符+八分休符)特にそこを走らないように。4拍目の入りが前のめりになっている。

また、39小節(全パート)  このパターンも甘くなる。「うば、うば、「うん」ば」です。ここの4拍目が早く入りやすい、四分休符をしっかり休んでください。

ここでちょっと変わった練習をしました。それは、スペインの楽譜にはアクセントがたくさん付いています。そこで、アクセントの付いている音だけを弾いてみました。(アクセントの付いていない音符は弾かない)これが意外と難しい、リズムに乗れないと間違えちゃう。

次にアクセントの付いた音符にはアクセントを付けて、それ以外の音符は *p*(ピアノ)で弾いてみる。ゆっくりしたテンポで、また、インテンポでそんな練習もしてみました。

**そこでワンポイント** リズムを取るときに大事なことは何だと思いませんか？体の中心から音を出すことです。足で取っている人を見るけれども、時々リズムと違っている。で、4パートと6パートが弾いて、他のパートはお尻でトントントとリズムを感じてみる練習もありました。そして43小節のアフタクトから全員で演奏。(ちょっとリズム感が出て来ましたよ)43小節から最後まで通して午前の練習は終わりました。

## 《午後の練習》

ピアノ（堀米奈穂さん）とドラム（鎌田朗、かまだあきらさん）の紹介があり、イントロ部分でピアノがどんなことをしているのか聴くところから始まりました。


午後も頭からの練習開始。

**ポイント3**、8小節目の「rit（リット）」表示は消す。（リットしない）

**ポイント4**、30小節から、ここは *ff*（フォルテッシモ）ではないのでそんなに頑張らなくても良いけれども歯切れよく弾いて欲しい。

**ポイント5**、41、42小節の<（クレッシェンド）>（デクレッシェンド）ここは2小節（8拍の中でクレッシェンドからデクレッシェンドするので早めにふくらませないと間に合わなくなる。（全パート）

**ポイント6**、68小節～75小節。ここの役割分担。1と5パート、それから2と3パート、それと4パートとベース。どれが大事か、みんな大事なんだけれどもどこが主役か。4パートはカラーなんですね、色がなくて寂しいので大事だけれども4は消えた。じゃあ、2と3パート（付点四分音符と八分音で、3・3・2のリズム）だと思う人？・・・1と5（二分音符の三連符で刻む）パートだと思う人？・・・これは、ずっと同じものを食べていたら飽きるんです。いちごばかり食べていたらみかんが欲しいんです。ということで、1と5パートをもっと前に出したい。ですから、2と3パートは、1と5パートを聴きながら支える。そして4パートは色を付けるんだけど、刷毛で虹を描くようにきれいな色を付ける。どうするかと言うと1つの小節から次の小節に移るときに切れ目が入らないように気を付けるとうまい。（ワンフレーズを大きく1筆で描くように）

**ポイント7**、3パートの64小節  の1拍目は前の音と同じ音を弾き直すのでアクセントが付きやすい。1拍目にアクセントが付くと2拍目のアクセントが欲しい音が目立たなくなってしまうのでやわらかく弾こう。続いて87小節から各パート走りやすいところの確認などドラムのリズムを感じる練習に少し時間を取りました。


**ポイント8**、87～110小節まで、2と3パートは2回目から入るところです、もうちょっと頑張っって音がでるといい。逆に1回目のときの4パートはちょっと控えめにして1パートが前に出るようにできるといい。

112小節からは、ちょっとほっとするところです。まず、129小節～練習。この中では141と142小節。すべての音符にアクセント記号が付いていて、最初が *sfz*（スフォルザント）次が *p*、142小節からクレッシェンドして143小節の *ff*（フォルテッシモ）へと向かっている。最初の *sfz* を出したらベローを止める。もしくは蛇腹を切り替えることもある。残った空気で弱くなったところから階段を上るようにクレッシェンドできるといい。この練習を少しやりました。

その後続く145、146小節（4と5パート以外）ここにスラー記号は付いていない、フニャフニャとならないように歯切れのよい音を出したい。そこで1ポイント どうするかと

言うと「トントントントン」と肩を叩くような感じ（押すんだけど、押している長さで感じる）1 4 5と1 4 6の2小節でクレッシェンドして1 4 7小節で *ff* です。そして、1 5 0小節（1と2パート以外は休符）1拍目が四分休符で2拍目 *p* から入るけれども、この音にはアクセント記号が付いている、*p* だけでももしっかりした音が欲しい。

ちょっと戻って1 3 7小節（2パートのみ）の最後の音に付いているアクセントを意識して存在感のある音に挑戦。

さらに少し戻って1 2 9小節から最後まで通す練習。そして最後に全パート1 6 3小節の四分休符+八分休符の休みの長さが短くなる傾向にあることと  と、2拍目のアクセントの切れが甘くなる点が指摘されました。

同じく1 7 1小節目の切れと、このパターンも早くならないようにテンポのキープが自宅での練習課題です。

### 柴崎先生のまとめ

今日は心強いリズムが加わりました。どこにリズムがあるか感じて練習してください。1つ1つのパートが自信を持って弾くことで1枚の大きな絵ができあがります。きれいな絵を描きたいですね、自身を持ってください。解らないところがあれば周りに聞いて解消しておいてください。みなさんお疲れさまでした



練習の様子

### ■事務局から一言

◎次回、2月の練習もスタジオフォーです。時間は午後1時から5時です。

◎譜面を置く台紙は本番当日渡します。

◎「みんなでつくりあげてきたコンサート」ということで、私たちも聴きに来る方と同様に、2千円の参加協力券を購入して、他の方の演奏と一緒に聴きます。2月の練習に参加協力券を用意するので、よろしく願いいたします。

### ■30周年記念コンサート実行委員から一言

本番当日は、コンサート終了後（午後5時～7時）同じ会場のレクリエーションホールで「レセプション」を計画しています。美味しい料理を用意したいといろいろ当たっています。2時間ですけれども是非皆さんに参加していただけると楽しい席になるのでご出席を予定してください。会費は4千円です。

次回（第6回）大オーケストラ練習日程 最後の練習になります！

日時 2月23日(日)13:00~17:00

お願い いよいよ最後の練習です。インフルエンザも心配です。体調を整えて歯切れのよい元気な演奏を目さしましょう。

会場 スタジオフォー 豊島区巢鴨、都営荒川線「庚申塚」駅より徒歩2分  
1月と同じ会場です。

飲食 スタジオ内で飲食可能です。

交通 山手線「大塚」駅から（5分歩き）都電荒川線に乗り換える。  
荒川線「大塚駅前」駅から三ノ輪橋方面に乗り二つ目「庚申塚」駅下車。  
踏切を渡り「庚申塚」の信号を左折、徒歩2分 ※駐車場は無し



■次回、席次を決めます

■本番 3月8日（日）墨田区曳舟文化センター（練習時刻未定）

《問合せ先》 築山 泉：080-4145-6546

〒180-0005 東京都府中市若松 4-37-12 メール：[tuki816@jcom.home.ne.jp](mailto:tuki816@jcom.home.ne.jp)

